

第5期高津区区民会議 第2回全体会議 摘録

□開催日時 平成26年10月31日(金) 午後6時00分～8時00分

□会場 高津区役所5階第2・3会議室

□参加者

区民会議委員 秋山委員、浅田委員、安達委員、内田委員、遠藤委員、大野委員、
角田委員、河西委員、河村委員、後藤委員、笹子委員、田村委員、
富田委員、日野屋委員、山田委員、横山委員、吉田委員、若林委員

参与 なし

行政 土方区長、武田副区长、北村総務課長、鈴木地域振興課長、佐藤危機管理
担当課長、山田区民サービス部長、西野橋出張所長、端坂高齢・障害課長、
障害課長、折原こども支援室長、庄司道路公園センター所長

事務局 宮川課長、小島担当係長、荒井担当係長、高橋担当係長、蟬川主任、熊島
職員

□傍聴者 1名

□次第

1 開会

2 議事

(1) 第5期高津区区民会議における調査審議課題について

(2) 区民会議の広報について

(3) 区民会議交流会について

3 その他

(1) 新たな総合計画の策定について

(2) その他

4 閉会

司会：遠藤副委員長

1 開会

- ・富田委員長があいさつをした。
- ・土方区長が行政を代表してあいさつをした。
- ・事務局が、配布資料の確認をした。
- ・事務局が会議の公開について説明し、委員の了承を得た。

議事進行：富田委員長

2 議事

(1) 第5期高津区区民会議における調査審議課題について

富田委員長が、配布資料「第1回全体会議これまでの検討経過について」「第5期高津区区民会議・専門部会一覧」を用いて「第5期高津区区民会議における調査審議課題」について説明し、承認された。

■「地域を活性化する部会」報告

引続き、遠藤副委員長が「地域を活性化する部会」について、資料「高津区区民会議 地域を活性化する部会名簿」「第5期高津区区民会議・第1回地域を活性化する部会まとめ」「高津区区民会議アンケート」「「パサージュ・たま事業」とは…」を用いて報告し、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・まとめに「橘さんま祭りでアンケートを実施し」とあるが、「さんま祭り」が流れてしまった。アンケートはどのような形で取っていくのか。（河村委員）
- ⇒具体的にはまだ考えていないが、こうしたら良いというご意見があれば、そうした取組を進めていきたい。（富田委員長）
- せっかく良いアンケートができたので、いろいろなイベント等の機会をとらえて十分使っていきたい。（遠藤副委員長）
- ・自分が所属する団体が開催するイベントで使っても良いのであれば、各委員が所属する団体のイベントで積極的に活用してはどうか。（笹子委員）
 - ・アンケートの年齢を書く欄が70歳までだが、70代でも相当元気な方々がおられる。80歳代以上のチェックがあると良い。どの程度の方々が元気でおられるか、ひとつの目安になるのではないか。（山田委員）
 - ・近隣の町内会・自治会が互いに交流してはどうか。（日野屋委員）

■「防災・防犯の意識を高める部会」報告

続いて、大野書記が「防災・防犯の意識を高める部会」について、資料「高津区区民会議 防災・防犯の意識を高める部会名簿」「第5期高津区区民会議・第1回防災・防犯の意識を高める部会まとめ」を用いて報告し、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・台風19号の際、各小学校の避難所開設情報について小学校の発信で出てきた。自分は上作延小学校の避難所運営会議の委員長だが連絡がなかったため、小学校に行き状況を見てきた。区の職員と小学校の教頭が一晩泊まって開設をした、ということだった。こうした実践的な機会はあまりないので、避難所運営会議へも知らせてもらえると良かった。こうしたことも含めて、水害や台風の災害も考慮してはどうか。（浅田委員）
- ⇒台風18号では、橘小学校近くの斜面緑地に大きな落石があり、消防署で確認後、区に連絡が入り、学校に連絡を取りながら避難準備体制に入った。川崎市の避難準備情報に発信するかどうかは、危機管理室と確認しながら見送った。
- 台風19号では、10月10日に警戒準備体制に入り、13日午後3時に高津区の職員135名の動員がかかった。その後、避難所運営会議の各町内会・自治会長はじめ、ご協力いただいている所へ連絡し、5時から5時40分の間で19か所全部の避難所を開設した。その後、避難所開設の連絡を避難所運営会議の委員長に連絡した。避難所運営会議の委員長が決まっていないところは、各町内会・自治会長に手分けを

しながら連絡をした。これまでは、地震による大規模災害を中心に捉えてきたが、近年ゲリラ豪雨、など風水害に対応する体制整備を整える必要があるという状況になっている。（危機管理担当課長）

- ・災害時の要援護者について自治会・町内会と話し合っしてほしいとのことだが、登録されている理由がそれぞれのため、いざという時の対応は難しい。中でも障害児は顔を知らない人間がいきなり行くと難しいため日頃から顔を覚えて欲しいということもあるが、名簿の内訳がどのように登録されているかということすらわからない。市はこれをどう活かしたいと思っているのかよくわからない。部会では、こういったことも含めて具体的な形ができると良い。（後藤委員）
- ・区にお尋ねしたい。東高津中学校の備蓄だが、以前見学をした時は半分以下しかなかった。その後追加するということがあったが状況は変わらないようだ。近隣の住民が避難してきても備蓄の品物が少なすぎる。これでは避難所に逃げてもしようもない。坂戸小学校にはまだ備蓄倉庫ができていない。空き教室もあることだから、とりあえずはそういったところに収められないのか、という話も出してはいるが返事がない。また、体育館の耐震構造はどうなっているのか。（日野屋委員）

⇒今日は限られた時間なので、次回の部会の時に説明をお願いします。（富田委員長）

- ・自分の町内会では一人ぐらしのお年寄りや高齢のご夫婦についての情報は各班が把握しており、地震があるとまず班長が飛んでいく。そうすると本人達も安心される。こうしたことを各町会・自治会が徹底した方が良い。（日野屋委員）
- ・今日の話で、行政の方も避難所運営会議への連絡も大変だということがわかった。自分の世代は電話に馴染みがない。避難所運営会議のメーリングリストを作れば、委員長が捕まらなくても誰かが対応できるのではないか。（河村委員）
- ・防犯や防災の意識を高めるということでは、区民会議のPRを含めてメルマガを発行してはどうか。（河村委員）

■「交通安全対策部会」

続いて、秋山副委員長が「交通安全対策部会」について、資料「高津区区民会議交通安全対策部会名簿」「第5期高津区区民会議・第1回交通安全対策部会まとめ」を用いて報告し、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

【主な意見】

- ・「ブルベ」という競技や褒めて伸ばすということだが、テレビでも褒めて伸ばす特集をやっていた。罰則ではなくこちらの方が良い。良い提案ができるのではないかと楽しみにしている（笹子委員）
- ・自分は自転車に乗らないが、乗らない人もやはりマナーを知っていなければいけないなど思っている。（笹子委員）
- ・兵庫県では自転車に保険を掛けるということを議会が進めているようだ。川崎市はどうかかわからないが、保険という形で検討したら面白いのではないか。（遠藤副委員長）
- ・ひとつのアイデアだが、一方通行の進入禁止に自転車が入ってくる場所などで、区民

会議の委員が街頭に立って注意喚起をしてはどうか。（秋山副委員長）

- ・市役所前の通りで社会実験をしていたようだ。それまで放置自転車がたくさんあったが、今は隔世の感がするほど良くなっているように見えた。同じ川崎市の中で成果があがっている。そうした検証も行っているのか、いないのか。あるいはする予定があるのか。（横山委員）

⇒社会実験については知らなかったが、そういうことがあれば、区役所の方にアドバイスを頂きたい。（秋山副委員長）

（２）区民会議の広報について

大野書記が配布資料「区民会議の広報について（案）」を用いて、高津区区民会議の広報の進め方について説明した。また事務局が配布資料「平成２６年度第１回かわさき市民アンケート 概要版」を用いて、高津区区民会議の認知度について説明した。説明を受け「区民会議の広報について（案）」を了承した。その他の意見は、以下の通り。

【主な意見】

- ・提示された広報案は、配布場所を増やすということはあっても広報紙を作るということは基本的にこれまでと同じであり、もう少し広がりを持たせると良い。たとえば冒頭の分科会の報告で出ていたアンケートと一緒に配布する等もある。団体等に持ち帰りアンケートを実施する際は、どのように了承を得るかを決めておいた方が良い。また、どのような会で実施したアンケートかをわかるようにすることが分析の際には必要だ。また、委員がタウンニュースの人物風土記等でシリーズ化できると良い。（角田委員）
- ・川崎市の自治推進条例の委員として、区民会議について調査した。認知度には７区の特徴があるのではないかと。高津区は交通の便利さから定時制市民が多い。高津区民会議の取組は、７区の中でも市民に訴える中身を強く持っていた。単に提言だけで終わっていない点では、高津区というのは先進的な区民会議であると思う。認知度が低いからと言って負い目を負わなくて良い。要支援者制度の具体化等喫緊の課題について区民会議も実践的に提案しているんだというようなことのアピールが突破口になる。（横山委員）
- ・区民会議を知ってもらい、それからどうするのがないといけない。宮前区の区民会議では冒険遊び場づくりの要綱を作った。この冒険遊び場はなぜできたのと言った時に、区民会議の提案なんだよということがずっと載っているのだから、子育て中の親に区民会議は親しみがある。多摩区でも区民会議が子どもの外遊びをやっていた。区民会議を知って関心を持ってもらい、手伝う人を増やしていくような目的があるのなら、そのような方向性が出る。知ってもらい、知ってもらった人たちに何をしたいのか、その準備をすることが重要だ。（河村委員）
- ・２月半ばのすくらむ２１、大山街道、テクノの３者が同時開催する祭に旗を持って行って具体的にPRする。ビラを配るなど、あれっと思うような意表を突いた行動も面白いのではないかと。（吉田委員）

（３）区民会議交流会について

事務局が配布資料「平成２６年度区民会議交流会の開催について（案）」を用いて平

成27年2月9日（月）午後6時から開催される「区民会議交流会」について説明し、既に予定のある委員の有無を確認した。現時点で予定のある委員は無し。開催が2月でありまだ日程調整が難しいことから、とりあえず日程を空けておいておくように委員にお願いをした。区民会議交流会の開催方法について以下の意見があった。

- ・昨年度までの交流会では、7区の区民会議が報告のしっぱなしで議論が深まらず、お互いの学びの場にならないという問題がある。これまでの反省を踏まえ、開催方法を検討していただきたい。私の私案だが、7区に共通する課題として要支援者制度について具体的にどういう形での実践的な取組があるのかをテーマに報告してもらおうと面白いのではないか。（横山委員）

⇒過去の交流会についてはあまり評判の良い内容ではないというお話がある。今年度は第5期の初年度にあたるので最終報告のような形ではなく、交流会本来の目的を主にした内容で準備を進めたいと、主催する市民子ども局の区調整課からお話をいただいている。7区の企画課長会議でも、横山委員の話を意見として伝えていきたい。

3 その他

（1）新たな総合計画の策定について

総合企画局企画調整課職員が配布資料「新たな総合計画の策定に向けて」を用いて、新しい総合計画策定に当たっての基本的な考え方について説明した。また、総合計画に対する意見募集、「川崎の未来を考えるフォーラム」への参加を呼びかけた。主な意見は以下の通り。

- ・川崎市のポテンシャルということで、中小企業のものづくりの技術は非常に高いものがある。研究開発関係の会社を下支えをしているのは中小企業のものづくりの技術であるが、その辺りの言及があまり無い。（横山委員）

⇒川崎市の中小企業を中心としたものづくりは大変大切なものであり、しっかりと押さえない。今日用意した資料の中にはスペースの関係で入れきらなかった。

（2）その他

□「エコシティたかつ推進フォーラム」の開催

山田委員がチラシを用いて平成26年12月7日（日）高津市民館で開催する「エコシティたかつ推進フォーラム」の内容を紹介し、参加を呼びかけた。

□「かわさき環境フォーラム」の開催

笹子委員が平成26年12月7日（日）市民館、キラリデッキ、南北自由通路で開催する「かわさき環境フォーラム」の内容を紹介し、参加を呼びかけた。

□協働事業提案募集

事務局が配布資料「協働事業提案を募集」を用いて平成27年度共同事業提案募集の内容を紹介し、募集を呼びかけた。

□区民車座集会

事務局がチラシを用いて平成26年12月8日（月）高津区役所5階会議室で開催する「区民車座集会 高津区で開催」の内容を紹介し、参加を呼びかけた。

□今後のスケジュール

事務局が第2回部会の日程候補について告知した。各部会の候補日は以下の通り。なお、所属部会以外の開催日時についても、全委員に連絡することを確認した。

※地域を活性化する部会

12月1日（月）、10日（水）、11日（木）、12日（金）

※防災・防犯の意識を高める部会

12月2日（火）、9日（火）

※交通安全対策部会

11月18日（火）、25日（火）、12月1日（月）、2日（火）

□パサージュ・たま見学

地域を活性化する部会が11月11日（火）に実施するパサージュ・たまの見学会への、部会員以外の参加者を確認した。

参加者：横山委員

なお、角田委員は部会時不明としていたが参加できることになった。

閉会